

# 地域の小さな声を聴く力。公明党

- 平塚けいじが令和元年第4回定例会で公明党の代表質問**
- 
- 地域防災計画における水害対策の不備について**
- ①台風19号の浸水被害について専門家と早急に検証を行い、説明責任を果たせ。  
**【答弁】**原因究明や今後の対策等を検討するため、学識経験者などと検討委員会を設置して対応する。
- ②風水害時のタイムラインを作成せよ、また内水氾濫ハザードマップを早急に作成し周知せよ。  
**【答弁】**風水害時のタイムラインを作成及び水害時の避難方法や避難所を明確にしたハザードマップを作成し、周知に努める。
- 
- 地球温暖化対策の具体的な取り組みについて**
- ①食品ロス削減の取り組みは、区内大学の学食や病院などへ具体的に拡げていくべき。  
**【答弁】**食品ロス削減推進計画の策定では、区民、大学、病院などの事業者からアイデアを募るワークショップを実施し、施策に盛り込む。
- ②紙おむつのリサイクルについては、事業系ごみ削減と新たなリサイクル事業化へ具体的な検討体制に入るべき。  
**【答弁】**今後、実証実験を通じて、紙おむつのリサイクルを進めるための事業化手順やコスト等が具現化していく、引き続き関係事業者や他自治体と相談していく。
- 
- 認知症施策推進条例について**
- 認知症施策推進条例については認知症在宅生活サポートセンターの充実として認知症のご本人や家族からの相談に適切に対応できる体制を整えよ。  
**【答弁】**区の認知症施策の拠点として、在宅支援サポート、家族支援、普及啓発、技術支援、人材育成等の5つの機能を総合的に推進する。
- 
- フレイル予防について**
- 健康寿命の延伸に向けたフレイル予防については、フレイル検診の実施と受け皿として28地区のまちづくりセンターを活用し、気軽に立ち寄れるフレイル予防体操教室を推進すべき。  
**【答弁】**今後もフレイル状態にある方が、確実に介護予防に取り組めるよう、身近な場所での介護予防事業の周知や通いの場づくりをさらに推進する。
- 
- 高齢者の住宅確保策について**
- 高齢者の住宅確保策については、居住支援協議会で普及に努めている民間の見守りサービスがオーナーの不安解消に有効だ、今後普及させるために初期登録費用の補助制度を考えよ。  
**【答弁】**登録初回費用の補助については、サービス利用を促進させる効果が高いと考える、実施に向けて鋭意検討する。
- 
- がん相談窓口の機能について**
- がん相談窓口の機能については社会保険労務士と協力し「両立支援コーディネーター」配置をすべき。  
**【答弁】**国のガイドラインや他自治体の事業例を参考に、「世田谷区地域・職域連携推進連絡会」のご意見もお聞きし支援の在り方等を検証する。
- 
- 児童相談所の設置に向けた取り組みについて**
- 児童相談所の設置に向けた取り組みについては家庭復帰後の子どもが再び保護や入所措置を繰り返さぬよう、東京法務少年支援センターと連携し、家庭に対して適切な支援を講じよ。  
**【答弁】**今後区の児童相談所の児童福祉司とともに、子ども家庭支援センターが専門的な知識やノウハウを身に着け、より一層の支援ができるよう、専門機関と連携して研修をさらに充実させ取り組む。